

校訓「大志」～世界の平和に貢献し、人類に奉仕する大志をもって  
人となれ人、人となせ人、母校よ永遠なれ～

# ヨフタが丘

奄美市立朝日小学校  
学校だより  
令和4年6月30日

## 光り輝く 朝日っ子

児童数 677人 教職員数 49人

### 挨拶をすると

校長 藤田 柳生

今日は昨日とうって変わって、梅雨の合間の晴天です。一人で、二人で、グループで、保護者と一緒になど、元気に「おはようございます」のあいさつとともに、横断歩道を渡って行きます。全員がとまではいかないのですが、渡り終えた後、止まってくださった車にぺこっと頭を下げて、お礼をしてくれる子どももいます。そういえば、校区内を車で走ると、横断歩道の至る所で渡り終えた後、向き直って一礼する姿をよく見ます。小学生だけでなく中学生もです。いつの間にか、習慣化されているのでしょうか。そういう習慣が、他の校区の方からみれば、朝日小や中学校の児童生徒は止まってくれる車までしっかりあいさつができるという評判までなっているようです。

先日全校朝会でこのあいさつについて話をしました。あいさつは漢字で書くと「挨拶」これは仏教の言葉で「出会った人が互いに心を開いて相手に迫っていく」ということです。そのためにあいさつをするという行為は「自分の心を相手にひらき、あなたは私にとって大切な人です。今私はここにいますよ。おはようございます。」ということ。そのあいさつをすることにより、信頼関係を築き、人と人をつなぐ第一歩となりえます。だからこそ、「いつでも、どこでも、誰にでも、元気なあいさつをします。」相手からかえってこなくてもいい。恥ずかしがらなくてもいい。心をこめた誰でもが元気になれるあいさつをしましょう。という内容でした。

お子さんは、ご近所でもしっかりあいさつしていますでしょうか。あいさつは校区の活性化にもつながると信じています。何気ないあいさつで、された人は元気をもらえます。このことは子どもたちだけではありません。大人もそうだと思います。私自身道路を掃除しているとき、あるいは散歩中人とすれ違ったとき、あいさつをし、その返答があればうれしくなります。

また、これは自己肯定感あるいは他者肯定感にも相通じることでもあります。あいさつをする、するとあいさつを返してくれる。このことはあいさつをした自分を認めてくれた結果だと思えます。逆を考えると、愕然とします。あいさつをしたのに反応してくれない。自分を認めてくれない。「え～っ」という感じなのでしょう。

今日も横断歩道で見守りをしていると、保護者の方が低学年の子を連れて歩いてこられました。「おはようございます」とあいさつすると、保護者も「おはようございます」そして、連れている子どもに「大きな声であいさつ」と話され、子どもは元気な声であいさつを返してくれました。こうやって子どもたちはあいさつの大切さを学んでいくんだなを感じることでした。すばらしい教育だなと感じた瞬間でもありました。

たかがあいさつ、されどあいさつ。人と人をつなぎ付けるあいさつを今後も継続していき、全ての朝日小の子どもたちが元気な声で「いつでも、どこでも、だれにでも」あいさつができるようにしていかなければならないと強く感じます。

# 5年生集団宿泊学習

梅雨も明けた6月22・23日、5年生110名が集団宿泊学習に行ってきました。この日に向けて体調管理にも十分に気を配った成果が出て、誰一人欠席することもなく、全員揃って活動を楽しむことができました。入所式から始まった奄美自然の家での生活は焼き板工作、飯ごう炊飯、灯の集い、入浴、就寝と途切れることなく続き、あっという間に1日目が終わりました。

待ちきれなかったのか、早く起きる児童が多かった2日目は貝浜に降りて、一足早い海遊びを楽しみました。真夏のような日差しの中で入る海はとても気持ちよかったです。最後のひと頑張り登山を登り、昼食を取り終えるともう退所式でした。

コロナ蔓延などもあり、なかなか全員揃えない一学期でしたが、小学校6年間でも一度しかない行事に全員で取り組めたのが何より嬉しいことでした。協力しあった経験を大切にして、これからも仲良く学び続けてもらいたいと思います。

## 「宿泊学習の日記から」

クイズウォークラリーで、協力して頑張ることの大切さを学びました。みんなで、「ここは滑りやすいよ。」「チェックポイントがあったよ。」とか声を掛け合って、活動できました。みんなと協力できて成長したと思います。(平 こと)

野外炊きでは、カレーを作りました。野菜を切るのは、思ったよりも難しかったです。さらに、食器や羽釜を洗うのはもっと大変でした。お父さんやお母さんは、毎日家族のために働いてくれています。わたしも、できる手伝いをしていきたいです。家族に感謝の気持ちを感じることができました。(山田 莉愛)



## 学校保健委員会「自己肯定感と読書活動」

奄美県立図書館の加峯美由紀館長をお招きして、自己肯定感を伸ばすには読書活動が非常に有効であるという講話をいただきました。小さいうちから読書に親しむ環境作りがとても大切であることを再確認できました。

ほんの少しの時間でもよろしいので、親子で一緒に読書に親しむ時間を作り、子どもたちの大きな成長につなげてください。

## 今後の主な行事予定

7/6	水	歯科検診(脱漏者)
8	金	PTA理事会
9	土	合同七夕祭り(特別支援学級) 合同水遊び(2年)
11	月	あいさつ運動(6年) ※以後19日(火)の1年まで
17	日	大熊湊祭り(舟こぎ大会)
18	月	海の日
20	水	終業式
21	木	教育相談週間(~27(水)まで)
26	火	親子理科教室